

JAAF
CHIBA

千葉陸協だより



発行：千葉陸上競技協会総務委員会広報部 2017年8月1日発行

第10号

ご挨拶

会長 宇野 裕

千葉陸上競技協会所属のアスリートの皆様、審判員の皆様、登録者の皆様、大岩前会長からバトンを受け、本年度より本協会の会長を務めることになりました宇野裕です。

本県の陸上競技は、ゆめ半島千葉国体を含む天皇杯優勝4連覇をはじめ、古くは第1回都道府県対抗女子駅伝優勝、最近では東日本女子駅伝の優勝など陸上王国千葉の名にふさわしい成果を収めてきました。また、高校生はもとより中学生や小学生のジュニアの競技者の活躍も目覚ましく、インターハイ、全日本中学校選手権、全国小学生交流大会などで成果を収めています。これらのジュニア世代から、2020東京オリンピックの出場者が育っていくことを願ってやみません。選手強化ばかりでなく、本県ではインターハイや2度の国体、そして国際千葉駅伝や千葉国際クロスカントリー大会といった大規模大会を数多く開催してまいりました。本協会ではこれらの大会の円滑な運営のため、審判技術の向上と正確で効率的な競技会運営に努めてまいりました。これらの大会運営のノウハウは、ちばアクアラインマラソン大会をはじめ多くの大会運営に活用されています。

これら競技力の向上や競技会運営の円滑化と併せ、陸上競技の発展には陸上競技を楽しむ機運が必要であると考えます。今後も継続して競技力の向上や競技会の円滑な運営に励むとともに、見て楽しい、参加して楽しい陸上競技の普及も図ってまいりたいと思います。私は陸上競技の経験こそありませんが、スポーツ行政等に深くかかわった経験を生かし、会長として陸上競技を楽しむ機運を盛り上げ陸上王国千葉の歴史と伝統を守るべく、協会の発展に力を尽したいと思います。皆様には御理解と御協力をいただけますようよろしくお願いいたします。



部活動紹介

第6回 「嶺南中学校」

嶺南中学校は、旧和田中学校と旧丸山中学校が統合してできた創立4年目の学校です。「We are REINAN ～巻き起こせ！嶺南旋風!!」のスローガンを合い言葉に、51名の陸上競技部員が競技力の向上と人間的な成長を目指して日々練習に取り組んでいます。

2016年のシーズンは、県中学校新人陸上大会で男女総合優勝をすることができました。多くの入賞者を出した棒高跳は、東京情報大学教授の石井政弘先生にご指導をいただいています。

2017年は「感動を学ぶこと」「感動を創り出すこと」「感動を伝えること」を日々の部活動の取組から大切に、色々な方々から応援されるチームになれるように、真摯に陸上競技に取り組んでいきたいと思っています。



※部活動紹介コーナーに登場してくれる部活動を募集しています。我こそはと思う部活動の方は千葉陸協までご連絡ください。

委員会報告

総務委員会

市東和代

日頃より、本協会に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

役員改選により平成 29 年・30 年度の新役員が決定し、新会長に宇野裕氏を迎え、木内専務理事、香取常務理事の新たな体制でスタートをいたしました。選手の皆様や競技役員の皆様に信頼される協会運営を務めさせていただきますので、今後も関係の皆様のご理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

競技運営委員会

伊藤 信夫

今年度より、競技運営委員会の委員長になりました伊藤です。よろしくお願いたします。

平成 28 年度は、審判員の皆様のご協力で、関東陸上競技選手権、千葉アクアラインマラソンなど、すべての競技会を無事に終了することができました。ありがとうございます。

今年度は、6 月に関東高校陸上選手権大会が千葉県で行われました。高校生にとってはインターハイを目指す重要な大会でありましたが、滞りなく、無事に終了することができました。関係各所の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。今後の各大会につきましても、競技者や観客、関係者の皆様に納得いただけるように、責任を持って競技運営にあたってまいります。

また、大会の Web 申込、コンピュータシステムを利用したプログラム編成などの作業の効率化を図るとともに、各公認競技会の記録を電子申請に統一していきたいと思っています。

審判員の皆様および関係者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

強化委員会

伊東謙二

昨年は天皇杯 6 位、皇后杯 5 位と最近としては良い結果を獲得することができました。この結果は選手やコーチがそれぞれ最善の努力をしてくれた結果

であることは間違いありませんが、今回のように全てがうまくいくとは考えていません。最善の結果の 8 割でさらに上の順位を狙えるチーム作りが不可欠です。選手、コーチを中心とした強化委員会やその母体である千葉陸上競技協会、更には行政の競技強化を目指した改善を考えていくことが重要であると考えます。現在の方法では強化の面においても限界があり結果的には組織としての取り組みよりそれぞれのチーム任せの現状を改善することは難しいと考えます。金銭面においても国体本大会を中心とした直近での対応策でしかなく 1 年を通じた強化対策が立てられない状況です。選考された選手はもちろん重要ですが競技団体全体の底上げを図った強化対策を計画できる取り組みが今後は不可欠となります。また、選手の強化と同時に指導者の育成を同じ比重で考え、今後も継続できるよう具体的な策を講じていければと考えています。その為には多くの若手の指導者の参加とノウハウのあるベテランの指導者の協力や情報交換が必要であり経験値に基づいた指導法や理論的な指導法の良いところを生かした指導を広めていけるよう協力を募っていく考えです。是非多くの方の協力をお願いいたします。

施設用器具委員会

松本 健

昨年度は、8 月に関東陸上競技選手権大会、10 月には隔年開催のアクアラインマラソンが実施され反省や課題等は多くあるものの無事終了することができました。ご協力いただきました競技役員ならびに関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

今年度は、例年実施されている大会に加え、関東高等学校陸上競技大会が本県で開催されました。2020 年の東京オリンピック時に活躍の期待される関東の高校生が一堂に集い競技を行いました。関係される皆さまのご協力のお陰もあり、好記録も多く誕生し、素晴らしい競技会となりました。ご協力いただいた方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

アクアラインマラソンについては 2018 年 10 月の実施に向けてコース点検等の準備を進めていきます。また、公認陸上競技場及びマラソンコースの検定作業も引き続き行っていきます。今後とも、本県陸上競技の普及のために微力ながら施設の環境面を整えていければと思っておりますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。

この人に
聞く

千葉のアスリート紹介



千葉県PRマスコットキャラクター チューパくん
千葉県許諾第A287-12号

第10回 高橋 竜輝 さん

皆さんこんにちは、東京学館船橋高等学校の高橋竜輝です。私は高校2年生で初めて全国大会を経験することができました。岡山インターハイの予選では決勝への標準記録を跳ぶことができませんでした。標準記録を超える選手が少なかったため、上位の人数枠で決勝に進むことができました。1日で予選と決勝があったもののその時の体の調子がとても良く、自己ベストを出して3位に入賞することができました。このことをきっかけに岩手国体の県代表にも選出して頂きました。岩手国体ではインターハイ以上の順位と記録を目標としていたのですが、気負いすぎてしまい、記録なしという結果で1点も千葉県のために貢献することができませんでした。とて



も悔しい思いと次こそはしっかり結果を出したいという気持ちでいっぱいでした。その後行われたシーズン最後の愛知県で行われた日本ユース陸上競技選手権大会では、岩手国体の悔しさを胸に大会に挑戦しました。自分にとって3回目の全国大会でしたが、とても緊張しました。しかし、顧問の先生や仲間達の温かい声援を受け、前向きな気持ちで競技することができました。この試合では自分が理想とするパフォーマンスができ、自己ベストを出して優勝することができました。これは自分だけの力ではなく、多くの方々のサポートがあつての優勝だと思えます。この1年で得たたくさんの貴重な経験を生かし、高校生活の集大成となる山形インターハイでの自己ベスト、さらにその後の陸上人生に生かしていけるように努力を重ねたいと思います。最後に日々支えてくださる方々に対して感謝の気持ちを忘れずに目標に向かって頑張っていきたいと思います。

プロフィール

高橋 竜輝 (たかはし りゅうき)

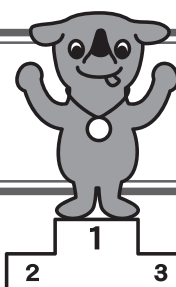
蘇我中→東京学館船橋高

岡山インターハイ 3位

全日本ユース陸上競技選手権大会 優勝



記録室 国際大会入賞者・国内大会優勝者



アジア選手権 (H29. 7. 6-9 インド)

十種競技 川崎和也 7584 ② Team Accel
女子 3000mSC 佐藤奈々 10:18.11 ③ スターツ
女子 走幅跳 清水珠夏 6m21 ④ 城北信用金庫

日本学生個人選手権

(H29. 6. 9-11 平塚)

女子 1500m 上田未奈 4:22.24 ① 城西大
女子 5000m 加世田梨花 16:00.39 ① 名城大

日本選手権 (H29. 6.23-25 長居)

男子 5000m 松枝博輝 13:48.90 ① 富士通
男子 3000mSC 潰滝大記 8:38.20 ① 富士通
女子 3000mSC 森智香子 9:49.41 ① 積水化学

お知らせ

役員改選により平成 29 年・30 年度の新役員が決定致しました。事務局・専門委員会の体制とあわせてお知らせいたします。

【平成 29 年・30 年度役員】

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|--|
| 会 長 | 宇野 裕 | | | | | | |
| 副 会 長 | 長谷川良介 | 岩本 一雄 | 高津 乙郎 | | | | |
| 専務理事 | 木内 俊秀 | | | | | | |
| 常務理事 | 香取 憲吾 | | | | | | |
| 理 事 | 小野 岩男 | 中臺 友明 | 水野 茂 | 林 英昭 | 勝又美代志 | 諸持耕太郎 | |
| | 奥田 義彦 | 吉元 厚 | 塩谷常三郎 | 高木 義雄 | 今井 淳史 | 稲葉 剛 | |
| | 西脇 修 | 岡野 寛 | 中村 吉光 | 市東 和代 | 伊藤 信夫 | 伊東 謙二 | |
| | 松本 健 | 秋葉 麻帆 | 越川 一紀 | 舟橋 昭太 | 鈴木 久一 | | |
| 監 事 | 津嶋 捷志 | 小松崎光一 | | | | | |
| 評 議 員 | 岸本 収次 | 古池 廣行 | 緒方 敏幸 | 稲阪 明男 | 石毛 克身 | 松本 克彦 | |
| | 牛玖 好文 | 橋本 通平 | 藤原 直紀 | | | | |
| 顧 問 | 朝比奈正行 | 大岩 哲夫 | 帖佐 寛章 | 澤木 啓祐 | 藤原 生通 | 市角 照男 | |
| | 山田晴之助 | 町山 晃司 | 大西 暁志 | 松本 信雄 | 内山 英夫 | | |
| 参 与 | 曾根 一幸 | 金内 幸雄 | 高橋 幸雄 | 中田 勝偉 | 県教委体育課長 高体連専門部長 | | |

【事務局・専門委員会】

| | | | | | | | |
|----------|-------|--------|--------------|--------------|----------------|------|--|
| 事 務 局 長 | 木内 俊秀 | | | | | | |
| 事 務 局 員 | 中村 吉光 | 鈴木都糸子 | | | | | |
| 総務委員会 | | | | | | | |
| 委 員 長 | 市東 和代 | | | | | | |
| 副委員長 | 岡野 寛 | (庶務部長) | 岩脇 充司 | (記録情報部長) | 今井 淳史 | 山村 剛 | |
| 部 長 | 西脇 修 | (財務部長) | 中村 要一 (国際部長) | | | | |
| | 長谷川弘之 | (法制部長) | 佐藤 広史 (広報部長) | | | | |
| 競技運営委員会 | | | | | | | |
| 委 員 長 | 伊藤 信夫 | | | | | | |
| 副委員長 | 藤原 直紀 | 松本 剛史 | (競技部長) | 福島 康介 (審判部長) | | | |
| 強化委員会 | | | | | | | |
| 委 員 長 | 伊東 謙二 | | | | | | |
| 副委員長 | 花岡 麻帆 | | | | | | |
| 部 長 | 浅野 真吾 | (強化部長) | 滝田 輝行 | (駅伝部長) | 舟橋 昭太 (普及育成部長) | | |
| 施設用器具委員会 | | | | | | | |
| 委 員 長 | 松本 健 | | | | | | |
| 副委員長 | 大竹 健 | | | | | | |

～お悔やみ～

本協会名誉会長 野村 和 氏 におかれましては、去る 7 月 15 日ご逝去なさいました。野村氏は千葉陸上競技協会理事長、副会長、会長を歴任し、平成 21 年には日本陸上競技連盟有功章を受章されました。ご冥福をお祈りします。

発行 一般財団法人千葉陸上競技協会

〒 263-0011 千葉市稲毛区天台町 323
千葉県総合スポーツセンター内
TEL : 043-252-7311 FAX : 043-252-7314
<http://www.jaaf-chiba.jp>